

# かまはし

発行 地域力推進蒲田西地区委員会  
編集 地域情報紙編集委員会

第83号

わがまちの顔



書道家

原 光 笹 さん  
はら こう しょう

原光笹さんにお会いしたのは先日、七月二日午前十時頃、西蒲田の料理店「花はな」で伊藤委員と青木委員そして柳通編集長とで開店準備の時間中に無償提供された席であった。

三十五度を越す猛暑の中、原さんは、きつちりとした身支度をされ、自己紹介がてら名刺を出された。表には名前と住所・電話番号であったが、裏面には現在活躍されている光荘会会長以外、多くの肩書きをお持ちで、大田区書道連盟理事長もされている。

原さんは昭和二十五年九月十八日に、大田区西蒲田五丁目に生まれ、相生小学校、御園中学校を卒業された。そして二松学舎付属高校（千代田区九段南）に進学、二松学舎大学（千代田区三番町）中国文学書道科を卒業し、教員免許を取得された。ここで書道を通じ

ての人間性の理解を習得された。卒業後、光荘会の運営に参加した。光荘会は岡田光荘さんが昭和三年に蒲田の女塚（西蒲田五丁目十五番五）に開いた書道塾である。女塚神社の大城通り入り口にある石柱の文字は、初代光荘さんによるものである。

光荘会は、昭和三十年に第一回光荘会書道展を港区芝東京美術倶楽部で開き、本年五月一日から三日まで第六十七回書道展を東京美術倶楽部で開催されました。多くの著名な書道家や会員を有している。

平成二十九年、原さんが第六代の会長に就任した。現在は多くの書道塾が参加する光荘会を運営しながら三度の日展入選を果たし、蒲田と恵比寿の書道教室で指導している。また現在、大田区では、若い人の育成を考え、児童書道展

を企画し、百点以上の参加を集めている。

専門の書は古い時代の書である隸書（れいしよ）で、中国では漢代（前二〇六〜二二〇年）に正式書体として用いられた。秦（しん）代までの篆書（てんしよ）が縦長

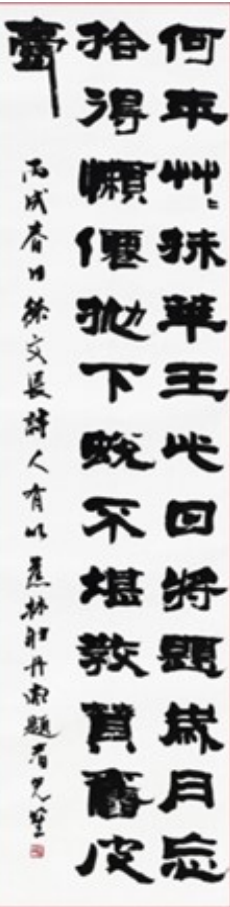
で、正面向き、静かに無表情なのに對し、その篆書から生まれた隸書は、扁平な台形を右下に引つ張ったような形をとり、また筆筒は「波磔」といううねりを帯びている。柳通さんは、原さんの書は大変美しく、篆刻に向いていると言

う。趣味は旅行で、仲間四人位で出かけると言う。日本は基より、東南アジアを訪ね、主に美術館巡りをするのが楽しみだそうです。

これからの活動は、光荘会を広めることであり、書道を通じ「和」を世界に広めたいと話して居られた。若い人の力を借りて、会の活動を広げたいという具体的な話もされた。

最後に光荘会及び原会長のこれからのご活躍とご健康を心より願っております。

（取材 伊藤・青木委員）



原 光笹さんの書



大城通り入口の石柱

今年の安方南町会の防災訓練は

# マイ・タイムライン講習会

を行います



**日時** 令和3年11月21日(日) 10~12時  
**場所** 安方神社 社務所(多摩川1-5-11)  
**人数** 先着30名(申込時に名前と連絡先を伺います)  
**申込** 電話 3759-3366(毎日 19:00~21:00のみ)か  
 メール [daira-y@hotmail.co.jp](mailto:daira-y@hotmail.co.jp) でお申し込み

こんにちは！安方南町会防火防災部の大良(だいら)です。今年は一昨年に実施したようなスタンダアラーはできませんので、区から講師をお迎えしてマイ・タイムライン講習会を行います。情報によっては急遽中止する場合も考えられますので、申込時には連絡先も伺います。よろしくお願ひします。

主催 安方南町会(防火防災部)

掲示板にB4判で掲示、回覧板でA4判で回覧した案内

大田区は東京湾と多摩川に面しており、マイ・タイムラインの普及啓発に力を入れています。この機会に多くの皆様に経験していただくと思い、防災危機管理課に講師派遣を依頼しました。ただし、新型コロナの感染拡大を防ぎながらイベントを行うのはとても大変でした。申込方法や会場設営まで手探りで行いました。

〈定員〉  
 今までは事前申込などなくて、当日来ていただければそれでOKでしたが、定員制として密を避けるためには事前申込制とせざるを得ませんでした。

平成二九年の防災訓練の時には雨のため、八八人の方に安方神社社務所内で様々な訓練をしていただきました。今の状況では定員を大幅に減らさざるを得ません。会長と相談の上、講師や事務局を含めて三十人を定員としてみたのですが、このことにより防火防災部のメンバーも全員出席が難しくなっていました。役員会で「役員なのに出席できないの？」と聞かれ「参加申込をしていただければ先着順で参加可能ですが、一般参加希望者の枠を最後まで残していただければと思います」と苦しい回答をせざるを得ませんでした。

〈申込〉  
 事前申込の受け方にも頭を悩ませました。結果的に私の自宅電話番号とパソコンメールアドレスを公開することで申込を受けましたが、家族には若干負担をかけたように思います。右は防災訓練実施計画書を大田区に提出するときに希望すれば事前に頂ける保存食料です。昨年はわかめご飯とクラッカーとスープの三点セットでしたが、今年はスープがなく、代わりにカレーライスと、きのこご飯から選ぶことができました。

左上カレーライス、上右きのこご飯、下左クラッカー、下右わかめご飯



## マイ・タイムラインって何？

### 安方南町会の防災訓練

令和三年一月、安方南町会の防災訓練は「マイ・タイムライン講習会」を行いました。

#### なぜマイ・タイムライン？

本紙七九号でご案内したとおり安方南町会は皆様に楽しみながら防災について学べる訓練を目指してきました。当初は十月実施を目指しましたが、会長と相談の上、一一月に延期して急遽中止もあり得る前提で広報しました。

マイ・タイムラインは平成二七年の関東・東北豪雨における避難の遅れや避難者孤立の発生を受けて国、県、市町で構成される「鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会」で様々な取り組みを進める中、住民一人ひとりが水防災に関する知識と心構えを共有し、事前の計画等の充実に促すツールとして開発されました。

### 〈準備〉

前日になって大事なことを忘れていたことに気付きました。当日受付窓口で氏名・住所などを記載していただきますが、その前に体温計測と手指消毒が必要だと思います。

自宅で体温計測と消毒の準備をして来ていただくやり方もあるかもしれませんが、ここはやはり最低限の対応が必要だろうと考える近くのドラッグストアに走り購入してきたのが左の写真です。普段他人の体温計測をすることはあまりないので意外と難しかったです。皆様協力してくださいました。

### 〈当日〉

下が当日の写真です。会場にはゆったりと座っていただき、講師お二人と事務局も含めて参加者は二三人。良い人数だと思えますがいかがでしょうか。講師のお二人は私たちの町会がプロジェクトリーダーやスクリーンを持っていないと知ると持参してくださいました。

過去の防災訓練でプロジェクトリーダーとスクリーンを誰からどう借りるかに時間をかけていたことを考えると今回は結果的に良かったとしか言いようがありません。参加賞としてティッシュの箱詰めを例年お配りしていましたが、今回は急遽中止の可能性もあることから区役所非常食料のみとしました。

### 〈意見〉

参加者の皆様はほとんどの方がマイ・タイムライン初参加。事前に情報をつかむことが可能な水害時の対応について、今ここで学んでいたことは将来の水害時に大きな力となることでしょう。

終了時に「今回とても良かったけれども災害は水害のみではないので次回は別の角度から検討していただきたい」とのご意見をいただき「ありがとうございます」と述べました。次回はより身近な災害を取り上げる予定です。

(取材 大良委員)



左は1秒体温計（非接触）、右は手指の消毒液



安方神社の社務所をゆったりと使用させていただいた今年の防災訓練 たまにはこんな形式も良かったかもしれません

# 一般コミュニティ助成事業を活用し

## トランシーバーを整備しました！

蒲田西地区自治会連合会は、一般財団法人 自治総合センター（以下「自治総合センター」という。）が行っている、一般コミュニティ助成事業を活用し、トランシーバーを整備しました。

### 自治総合センターって？

自治総合センターは、自治大臣の許可を得て、昭和五十二年四月一日に設立されました。主な事業としては、調査研究事業、環境保全・シンポジウム助成事業、宝くじ社会貢献広報事業があります。自治総合センターは、このような事業を通じて、地域社会の発展と住民福祉の向上に貢献することを目的としています。

### どんな事業があるの？

蒲田西地区自治会連合会が申請した、宝くじ社会貢献広報事業には、文化振興事業とコミュニティ助成事業があります。さらにその中でも細かく区分分けされており、文化振興事業には、宝くじ文化公

演と宝くじスポーツフェア開催事業があります。一方で、コミュニティ助成事業には、一般コミュニティ助成事業、コミュニティセンター助成事業等、様々な事業があります。

当自治会連合会はこの中の一般コミュニティ助成事業に申請し交付決定されました。

### 一般コミュニティ助成事業って？

一般コミュニティ助成事業とは、住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図り、地域の自治意識を盛り上げることを目的としています。具体的な事業としては、コミュニティ活動に直接必要な設備等（建築物、消耗品は除く）の整備です。これら事業は、宝くじの受託事業収入を財源としていますが、皆さまも一度は購入されたことがある、又は、購入を検討したことがある宝くじの一部が、地域コミュニティの活性化に貢献しています。

### トランシーバーを購入！

蒲田西地区自治会連合会では、この助成金を活用し、トランシーバー（六十二三〇）を整備しました。

実は、当自治会連合会が一般コミュニティ助成を受けるのは二度目となります。前回は、平成十四年に交付を受け、会館の備品を整備しました。

### 蒲田西地区自治会連合会での活用方法は？

今年度購入したトランシーバーは、地域防犯パトロール等の地域防犯活動事業をはじめとした蒲田西地区の各種事業において活用していきます。

近年、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当連合会事業の中止が余儀なくされてきました。しかし、今年度に入り、事業



が再開されつつある中で、感染防止の観点から人と人の距離を確保しながら事業を行う必要があります。その際に、トランシーバーを活用することで、会場間で距離を確保した情報伝達が可能になり、円滑な事業運営に貢献します。今回の助成により整備した備品を活用し、当地区の地域コミュニティの拡充及び安全・安心でいきいきとした魅力あるまちづくりへと繋がってまいります。（事務局）



購入したトランシーバー

### 蒲田西特別出張所管内

人口	男	32,272人
	女	29,939人
	計	62,211人
世帯	36,542世帯	

令和4年8月1日現在